

第8回ミナミ活性化協議会代表者会議結果

1 日時

平成25年1月24日（木）午後6時30分～午後7時10分

2 場所

道頓堀リンデンビル4階映像ホール

3 出席者（敬称略）

役	職	氏名
大阪府副知事		小河 保之
大阪市副市長		田中 清剛
大阪府警察副本部長		鶴谷 明憲
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長		岡本 敏嗣
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人		福長 徳治
大阪商工会議所副会頭		倉持 治夫
一般社団法人関西経済同友会代表幹事		鳥井 信吾

4 意見交換

○ ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長

このミナミ活性化協議会の代表者会議は、平成17年度から始まり、今回で8回目を迎えた。

振り返ると、8年前になる当時のミナミの街は、強引な客引きを行う「カラス族」いわゆる黒服がうろつき、卑わいな看板を掲げた風俗案内所も至るところに存在するなど、通行の妨げになるだけでなく、地元の者でも近寄りがたい雰囲気が漂っていた。

また、放置自転車が雑然と置かれ、はみ出し看板やごみが放置されているなど、悪いイメージに拍車をかける状態であった。

そのような中、「風情あるミナミの街を取り戻したい」「自分たちでミナミの街を良くしていく」という地元の熱い思いの者たちが集まり、平成17年2月に地元商店街や地域振興会などを構成員とする「ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会」を設立した。

それ以来、地元では『みんなでつくろう ええ街ミナミ』をスローガンに、毎月、行政・警察・経済界との連絡会議や夜間の合同パトロールなどを実施し、さらには、はみ出し看板等の解消に向けた自主規制を強化するなど、ミナミの環境浄化や活性化に向けて努力してきた。

このように、地元の力を結集し、行政、警察、経済界と一致団結して様々な取組を行ってきた結果、徐々にではあるが「ミナミはええ街」だと実感していただける風情を取り戻しつつある。

「風俗環境問題」では、これまで警察において、迷惑防止条例の改正や風俗案内所条例の制定などにより取締りを強化していただいた結果、当初の課題であった違法な風俗店の非常に悪質な客引きは大きく減少し、風俗案内所なども最盛期よりは減少した。

しかし、現在では法令等で規制されない飲食店などの一部の客引き行為が問題となってきた。客引きを専門に行う会社が現れ、客引きが徒党を組むなど、ミナミを訪れる観光客等にとって、大変迷惑となり、街のイメージを悪化させる要因となっている。

こういった客引き行為は、安易な売り上げ増を考える店舗を増やすだけであり、結局は、街の雰囲気やイメージを損ない、ひいてはミナミが長年に亘り培ってきた食文化を崩壊させることとなり、将来的にはミナミの街全体の衰退につながっていく由々しき問題と我々は考えている。

地元としても、客引き排除の対策として、商店街等によるパトロールや警備員の雇用、地元商店街等による「客引き排除活動 共同宣言」を採択し、自主規制を強化するなど、知恵を絞って対策を練っている。

また、府警もあらゆる法令を駆使して、違法な客引き排除のための取締りを行って来てはいるが、根本的な解決には至っていないのが現状である。

我々としては、行政、警察、各団体と連携し、客引き排除の条例の制定も視野に入れながら、その対策に積極的に取り組んでまいるので、今後とも協力をよろしくお願い申しあげます。

もう一方で問題となっている「放置自転車対策」では、大阪商工会議所が事務局となった「ミナミ自転車問題対策協議会」を中心とした働きかけと、大阪市の英断により、平成 21 年 10 月に、ミナミエリア一帯が自転車放置禁止区域に指定された。

その後も、大阪市による駐輪場の拡大や放置自転車撤去回数の増加、地域事情に合わせた撤去活動の一つである夜間撤去も実施していただき、放置自転車は減少傾向にあり一定の成果をあげているが、未だ無分別に放置された自転車も多く、広報啓発を含めた対策を取り行っていく必要がある。

また、「地域のルールづくり」にも官民一体となって取り組んできた。まずは、歴史や風情が息づく個性的で格調高い魅力的な街並みを再生・創造するため、宗右衛門町地区において、平成 22 年 4 月に歓楽街では初めてのケースと思われる地区計画が策定された。さらに、ハード整備として無電柱化や石畳の道の復活に向けた道路の美装化が本年度中には完成する。完成すれば、伝統あるミナミの歴史や風情の再生・創造の一翼を担ってくれると考えている。

また、心齋橋地区においては、用途制限やデザイン規制を盛り込んだ景観協定の制定に向け、地元同意をほぼ取り終え、大阪市内に申請を行う段階まで来ている。

このように、健全な街並み再生に向けた動きも地元では積極的に行っている。

また、ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会の活動は、8 年目を迎えているが、当協議会では地元の力を結集し積極的に取組を進め、行政、警察、経済界などとも協働を図りながら、ミナミの環境浄化と街の賑わいづくりに尽力しているところである。

特に賑わいあるまちづくりについては、平成 27 年に道頓堀川が開削されて 400 年を迎えることから、地元としてはこれを大きな契機と捉えている。

道頓堀川開削 400 周年を観光戦略の中核に据え、開削 400 周年記念博覧会を開催するなどして、国内外から多くの観光客にミナミを訪れてもらい、国際都市大阪の魅力をミナミから発信していきたいと考えているので、皆様のご協力をよろしくお願いしたい。

最後になったが、今後とも行政、警察、経済界、賛同団体の皆様からご支援・ご協力をいただきながら、魅力ある賑わいの街ミナミの再生・創造に向けまちづくり活動を推進してまいるので、今後ともよろしくお願い申しあげます。

○ 大阪府副知事

この代表者会議には知事が出席できないときに 3 回か 4 回出席させていただいており、本当に地域の皆様方が地道な活動をされているとひしひしと感じている。

私は生まれ育ちが南区であり昔の良きこの街を知っているが、ある時から昔から馴染みのある者ですら歩きにくく非常に怖いなという印象があった。それからは、先ほど岡本会長が話されたように、地域の皆様方が大変なご苦労されながら地道に活動されて、徐々に昔を取り戻されていると感じている。

宗右衛門町においても電線の地中化や石畳化などで苦労されているのを聞いているが、これが完

成すれば雰囲気のある街になると思っている。

安心して歩くことができ昔の賑わいを取り戻すために、我々としても大阪府・市でグランドデザイン大阪というのをつくり、ミナミだけでなく、もっと大きく捉えてこのミナミの良さを生かしながら天王寺の阿倍野地区と一緒に、大きな大阪の南の玄関口にしていくことを考えている。とんぼりリバーウォークもでき、他にもいろんな取組をしていることを対外的にもアピールして多くの観光客に来ていただけるようにしていきたい。

このような大きな取組とあわせ、来ていただいた観光客が安心して歩くことができるために、府としても街頭犯罪の多発地域に防犯カメラの設置を補助してきた。これについてはミナミ地区においても皆様のご協力を得ながら防犯カメラを設置し、その効果もあり街頭犯罪の抑止になっていると思う。

さらに、昨年からは、地域の防犯力向上のために青色防犯パトロールにかかる青色回転灯などの機材の提供に取り組んでおり、防犯意識の高揚にも効果があると思っている。今後も、多くの青色防犯パトロール活動を行えるように府としても支援していきたい。

その他、大阪府青少年健全育成条例に基づきインターネットカフェなどの青少年夜間立ち入り制限施設に対し大阪市・大阪府警察本部と合同立ち入り調査を行い、また、昨年12月には大阪府薬物の濫用の防止に関する条例が施行され、知事が指定する薬物の販売・使用に関して罰則規定を盛り込み、これについてもどンドン街頭指導をやっていき、街の浄化も進めていくように努めていく。

ミナミは良い街で昔からの食文化の発祥でもあり、いろんな芸術・芸能・演劇の発祥でもあるから、ミナミが元気になることにより大阪全体の元気を取り戻せると思うので、これからも、地元の皆様、大阪市、大阪府警察本部、経済界と一緒にさらさら活性化させていきたい。

○ 大阪市副市長

大阪市ではミナミの活性化に向け、中央区が中心となり関係部局が連携している取組を行っている。

大きくは3つある。

一つは地域の防犯対策である。

現在、大阪市ではひたたくりを中心とした街頭犯罪の減少を目指し、大阪府、大阪府警察本部などと連携しながら市民の皆様との協働を基本とした地域防犯対策に取り組んでいる。成果は確実に表れているが、依然としてまだ多く発生している。今後とも街頭犯罪のさらなる減少という目標を維持しながら、引き続き取り組んでまいりたい。

二つ目は放置自転車対策である。

以前からミナミでの対策を重点的に行っているが、先ほど岡本会長からもお話があったように、ミナミのエリア一帯を放置禁止区域に指定し、地域の皆様からの全面的なご協力もあり、非常に地域の実情にあったきめ細かい対策を実施している。夜間撤去や土曜日・日曜日等の休日撤去などもその一例である。

また、撤去だけでなく、駐輪場の増設も行っている。昨年度は250台増設し、今年度は190台の増設を予定している。こうした取り組みにより放置自転車は着実に減少しているが、緩めることなく引き続き積極的に推進してまいり。

三つ目は魅力あるまちづくりである。

宗右衛門町地区では地元の皆様が主体となって取り組まれており、大阪市としてもバックアップするかたちで平成22年に宗右衛門町地区地区計画を策定した。また、その後条例を定め違反建築物の監視強化にも努めている。

ハード面では、電線の地中化工事や石畳の工事も近く完了する予定である。

私も長い間道路行政をやってきたが、歓楽街において幅員が7.8mの道路で電線の地中化を行うこ

とは、当初は技術的にもとても無理だと考えていたが、地元の皆様のご熱意と全面的なご協力により、非常に全国でも珍しいかたちで実現できたと思っている。皆様のご協力のおかげである。

この他、心齋橋筋では景観協定に向けた取組が進められている。久左衛門町や三津寺町、難波地区においても地域が主体となったまちづくりに対して支援してまいりたいと考えている。

今後ともよろしくお願ひ申しあげます。

○ 大阪府警察副本部長

大阪府警察における昨年の主な取組について3点ご報告を申しあげます。

第一にミナミ地区において違法な客引きを171人検挙している。中でも警察の取締りを逃れるために無線機を違法に使用して連絡を取り合うなどしていた客引きグループのメンバーを電波法違反で検挙するなど非常に多角的に法令を適用した取締りを進めている。

また、昨年2月にミナミのいわゆるガールズバーで従業員の女子高校生が急性アルコール中毒で死亡した事案を受け、ガールズバーに対する集中取締りを行っている。ミナミ地区では12店舗、経営者ら35人を検挙して女子少年31人を補導している。

第二に組織犯罪の取締りということで、暴力団員が経営する売春クラブ、あるいはインターネット賭博店など3店舗を摘発して、暴力団員5人を検挙している。

また、来日中国人グループが経営をしていた違法な性風俗店を摘発して、経営者ら12人を検挙している。

さらに、ミナミ地区で暴力的な武力行為を行っていた、いわゆる半グレ集団の構成員等を検挙して、年末にはこの半グレ集団についても壊滅状態に追い込んでいる。

第三は、街頭犯罪の発生実態に即した効果的な検挙・抑止活動ということで、街頭犯罪の認知件数が平成24年は前年比で201件マイナスということで1,218件まで減少させている。

この街頭犯罪の抑止に効果的な街頭防犯カメラについても、3月までに42台増設するほか、来年度もさらなる増設を計画している。

当府警察ではミナミ地区における違法風俗店等の取締りを強化して、一定の成果を得てきたところであるが、他方で取締りの後に生じた空き店舗に同種の違法風俗店が入店するといった事例も散見している。

今後とも皆様方のお力添えやご支援をいただきながら、このミナミの街の風俗環境の浄化をさらに進めていきたいと考えているので何卒よろしくお願ひ申しあげます。

○ 大阪商工会議所副会頭

大阪商工会議所では、「千客万来都市 OSAKA プラン」を掲げており、その柱の一つとして国内外からの観光客、あるいはビジネス旅客の方に大阪に来ていただき、交流人口を増やしていこうと「旅遊都市化推進プロジェクト」を進めている。その中で、ミナミは大阪への観光集客を図る上で随一の貴重な地域資源であり、ミナミの賑わいづくりを進める事は大阪全体の観光集客力の向上に直接的につながると考えている。

その一環として、昨年12月より来月末までの3か月間、外国人の観光客の方がパスポートを利用することで特典が得られる「第2回 関西メガセール」を大阪市さんとともに現在実施中である。全部でおよそ150の施設、6,000の店舗にご参画いただき、ミナミにおいても地元の商店街の皆様をはじめ、多くの店舗で特典の提供にご協力いただいている。この場をお借りして改めて御礼を申しあげます。

また、今年の夏には道頓堀の遊歩道、とんぼりリバーウォークを1200もの提灯で彩る「道頓堀川万灯祭」を実施し、情緒あふれるミナミの魅力を57日間にわたり発信することができた。こちらも地元の皆様とともに大阪商工会議所が共催させていただいたところである。

また、私どもではかねてより大阪の水辺の魅力向上事業にも取り組んでおり、昨年の10月に実施した大阪水辺パルでは、ミナミの飲食店にもご参加いただいた。水の都大阪、そして食の都と称されてきた大阪にとって、いずれもその核となるミナミにご参画いただいたのは大変意義深く、お客様からも高い評価をいただいた。おかげさまで湊町の船着場では、船に乗りきれないお客様が多数発生してしまったほどである。

さらに、さきほど岡本会長からもお話があった、道頓堀川開削から400周年、2年後であるが、引き続き地元の皆様方とともにミナミの賑わいづくりに取り組んでまいりたいと思っている。もちろん、こうした賑わいづくりも街の安心・安全が確保されていることが大前提であり、そのためにもさまざまな対策が現在関係者間で検討されているが、私ども大阪商工会議所もできるかぎり参画し、地元の方々の取組をお手伝いしてまいりたいと考えている。

ミナミの活性化には、市民、企業、行政、経済界がそれぞれ主体性と参加意識を持つことが必要不可欠である。大阪商工会議所としても、このミナミ活性化協議会を通じて、オール大阪、全員参加で魅力あふれるミナミを実現すべく皆様方とともに取り組んでまいるので、今後とも変わらぬご支援、ご協力のほどお願い申しあげます。

○ 一般社団法人関西経済同友会代表幹事

平成17年のミナミ活性化協議会設立以来8年間、地元の皆様方と行政の皆様と一体となってミナミの活性化に取り組んでおられることは大変素晴らしく、心から敬意を表したい。

今日は日頃から少し考えている事を、私見であるが問題提起させていただきたい。

思うのは、世界中のどの都市・街にしても歴史や伝統文化の香りが無い街には、人はなかなか魅力を感じないのではないかということである。

私は仕事柄よくヨーロッパに行くが、パリ、ローマ、フィレンツェ、ウィーン、プラハなどヨーロッパの主都市は、歴史・伝統・宗教施設を非常に良く保存している。

たとえばプラハは、世界中から人が集まる街だが、人であふれかえっているのは歴史的な場所である。

また、ポーランドの首都、ワルシャワは、第二次世界大戦で街がほとんど破壊しつくされたが、現在は、たとえば、煉瓦のひび割れに至るまで寸分変わらず復元されており、ユネスコ世界遺産に登録されている。

ミナミについて顧みると、ミナミには世界に誇れる歴史・文化遺産が豊富にある。

江戸時代、ミナミには道頓堀五座という劇場と六寺という六つの寺があり、今は松竹座と法善寺を残すのみになっているが、もともとは劇場と寺が街を構成し門前市を成していた。そういう意味ではブロードウェイとバチカンが一緒になったような街であると思う。

たとえば、近松門左衛門と竹本座。近松門左衛門は元禄時代にミナミを中心に活動し、浄瑠璃・歌舞伎で成功した作家であり、日本のシェイクスピアと称されている。そして竹本座において、巷でのほとんどの芝居が上演されていた。

たまたま数か月前に竹本座の跡地付近を通りかかった。今は碑が建っているが、少し打ち捨てられたかの雰囲気であり、少し残念に思っているところである。

私は仕事柄ヨーロッパからの客人を大阪案内する機会が多いが、やはり彼らの興味のほとんどは歴史・文化に向いており、そういった場所を案内すると喜んでくれる。

ミナミの活性化においても、是非、歴史・文化の観点を取り入れていただき、オール大阪で取り組んでいければと思う。

○ ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人

ただいま、各団体の代表者の皆様からこれまでの取組やその成果、またミナミの活性化に向けた

取組を推進するとの力強いお言葉をいただき、本当に感謝している。

さきほど岡本会長からミナミの環境浄化と街の賑わいについて尽力する、とお話があったように、我々は客引き対策をはじめとしてミナミの街を訪れる誰もが安心して楽しむことができ、風情が息づく魅力的で人が集う賑わいある街とするための取組を一層推進し、前へ前へと邁進していく所存である。

皆様からは、さらなるご支援・ご協力をいただき、ここミナミを日本一、さらには世界一安全で安心して楽しめる街としてアピールできるように、本協議会を中心に取り組んでまいりたい。

5 共同アピールの採択

意見交換後、出席者全員一致で「第8回ミナミ活性化協議会代表者会議共同アピール」を採択した。

6 啓発イベント、パレード

代表者会議終了後、リンデンビル1階コンコースにおいて啓発イベントを行い、道頓堀通（リンデンビル～戎橋南詰）でパレードを実施した。

※放置自転車撤去と放置自転車追放キャンペーン

代表者会議の前に、道頓堀（相合橋～御堂筋の間）で大阪市建設局による放置自転車の撤去及び参加者による自転車放置禁止区域の啓発キャンペーンを実施した。

第8回 ミナミ活性化協議会代表者会議 共同アピール

われわれ、ミナミ活性化協議会は、「みんなでつくろう ええ街ミナミ」を合言葉に、健全で魅力あるミナミのまちづくりのため、互いに連携を図りながら、それぞれの立場で創意工夫を凝らした取組を推進しているところである。

その結果、街頭犯罪等の減少による治安の改善や、道頓堀川の水辺整備、宗右衛門町通りの道路整備等による環境の改善に一定の成果が見られるなど、街は再生に向けての歩みを着実に進めているが、街のイメージを悪化させる客引きの横行など未だ残された課題も多い。

われわれは、この街本来の風情や情緒を取り戻し、国際都市 OSAKA に相応しい、世界から人が集まる賑わいと魅力あふれる街へと発展させることを目標に掲げ、次の取組を推進することとした。

- ① 違法な客引きや違法風俗店、薬物事犯、暴力団・来日外国人犯罪等の取締り、街頭犯罪の抑止対策、違法駐車・飲酒運転の取締等の交通安全対策を強力に推進するとともに、防犯カメラの設置等の防犯環境の整備を進め、誰もが安全で安心して楽しめるまちづくりを推進する。
- ② 違法駐輪の根絶に向け、自転車放置禁止区域の周知徹底や放置自転車の撤去、駐輪場の増設や民間駐輪場の有効活用のための仕組みづくりなど、より一層の取組を推進する。
- ③ 道頓堀川開削400周年を平成27年に控え、水辺のさらなる利用促進を図るとともに、上方の伝統文化の力と賑わいのある街並みの再生・向上を図り、水辺を楽しみ、食や文化を楽しむ風情が息づく、魅力あふれるミナミを創造する。

平成25年1月24日

【ミナミ活性化協議会】

大阪府知事	松 井 一 郎
大阪市長	橋 下 徹
大阪府警察本部長	坂 口 正 芳
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長	岡 本 敏 嗣
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人	福 長 徳 治
大阪商工会議所会頭	佐 藤 茂 雄
一般社団法人関西経済同友会代表幹事	大 林 剛 郎

～賛同団体～

ミナミまち育てネットワーク

公益社団法人関西経済連合会

公益財団法人大阪観光コンベンション協会